

事業所名	スクラムトライ放課後等デイサービス	支援プログラム	作成日	2026年	1月	30日
法人（事業所）理念	合同会社プロツップが運営するスクラムトライ放課後等デイサービスの理念は、『あなたの笑顔がみたいから』あらゆる障害を持つこどもに対しそれを個性としてとらえ安全かつ安心に過ごせる場所を提供します。					
支援方針	★こどもにとって安全なスペースを確保し、心身ともに健康に育つよう支援を行います。★日常生活のマナー習得を目指し、あわてず子どものレベルにあわせ社会性をみつけます。★療育を智育(知る、考える、行動する) 体育(体を動かす、健康増進) 道徳(人のもつ優しさを育む)を支援方針といたします。					
営業時間	9 時	分から	18 時	分まで	送迎実施の有無	あり 宝塚市・伊丹市・川西市
	支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	☆身辺自立を目指し、正しい食事マナー・衣類の着脱・排泄の自立・忘れ物をしない持ち物管理、交通ルールを守る等、個人のレベルに合わせて取りくんで行きます。				
	運動・感覚	☆毎日の公園遊び等をとおして、日常生活に体を動かす楽しさを覚え、器具や用具をいかしバランス感覚を養う。				
	認知・行動	☆時間の概念を学び、始まりや終わりの時間(食事やトイレ)の合図をタイマーなどで示し、次の行動指針をボードなどを用い視覚から確認出来るように支援します。				
	言語 コミュニケーション	☆子どものレベルにあわせた読み書き能力の向上を目指し、絵カードiPad操作やPC学習を適切に活用し環境の理解と意思の伝達がスムーズにできるよう支援する。 ☆外部講師を招き本格的な英語レッスン(ダンス・音楽を用いて)楽しみながら英語に慣れる。				
	人間関係 社会性	☆指導員を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ち感情や情動の調整ができるよう支援する。				
家族支援	☆毎日の様子や変化など送迎時に報告、連絡帳やラインアプリを活用し情報を共有。6ヶ月毎のモニタリングや支援計画作成時に面談し支援を共有する。		移行支援	☆通学する学校と情報共有や問題点等、意見交換を行います。		
地域支援・地域連携	☆相談支援事業所や併用する他の放課後等デイサービスと情報共有意見交換などを行います。		職員の質の向上	☆毎日の朝礼や終礼にて職員全員で、当日利用者の状況確認 ☆月毎のテーマを決めた会議や外部研修への参加		
主な行事等	☆月毎のレストラン学習(食事マナー習得)社会性を学ぶ。☆土曜日及び祝日等近郊の公園に出掛ける。☆季節ごとのイベントクリエーション活動					

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スクラムライ放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 29日		
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	22	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 25日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者、保護者の要望や状態に合わせて支援を行っている	生活リズムの安定を図りながら定期的な通所が出来るように支援します。	・利用者の要望や身体状況にあわせ無理しないさせない日ごとの療育プログラム。
2	広い一軒屋で療育やレクリエーション活動等こどもがストレスなく過ごせるスペースを確保。（デイの前が公園）	広い教室や公園遊びなどで体を動かしストレスを軽減する	スポーツ用具や健康器具の追加でレクリエーション活動の充実を図る。
3	毎月のレストラン学習や近郊の公園遊び平日の教室とは違う体験ができる	外出さきでは、こどもたちの安全を最優先にかがげる。	外出さきがマンネリにならぬよう職員や子供たちの要望を出来るだけ聞き入れる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所及び関係機関との地域連携が弱いと思われる。	関係機関とのつながりが弱いと思われるが、イベント等の参加に消極的と思われる	職員等参加できるイベントや講演があれば参加するように促していく
2	防災訓練及び避難訓練年2回実施しているが保護者へのアナウンスの告知不足	最新の災害情報取得に努め災害発生時に対応できるように備えている	書類やラインなどで訓練の周知徹底を行う
3	教育グッズの不足、教室内の展示や装飾などが寂風景である。	シンプルレイズベストにこだわりすぎている。	子どもたちが明るく過ごせる教室のレイアウトや装飾品を追加していく。随時必要な教材もそろえる。

## 放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2026年1月20日

事業所名：スクラムトライ放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	はい:4 ・安全に活動ができるスペースを確保している	はい:18 ・一軒家で広々としていて、いつものびのびと過ごさせてもらっています。 ・いつも広々とお部屋を使わせてもらい助かっています。 ・動き回るのに十分なスペースや、座って取り組めるスペースもあり快適です	・引き続き、児童が安全かつ快適に過ごせるよう配慮していきます。 ・広いスペースを活用した支援活動ができるよう、環境維持に努めたい
	2 職員の適切な配置	はい:4 ・適切な人員を配置している	はい:17 わからない:1 ・先生方の人数も多く安心しています。	・今後も適切な人員配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	はい:4 ・わずかな段差はあるものの、安全第一で活動できるよう環境を整えている	はい:17 どちらともいえない:1 ・気になる点は特にない	・廊下や段差等には注意喚起のイラストを配置し対応していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	はい:4 ・支援終了後には、適切に掃除・消毒を行っている	はい:17 どちらともいえない:1 ・広くて清潔です	・毎日の消毒・清掃活動を継続して実施していきます。 ・児童が快適に過ごすことのできる空間づくりを維持していきます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	はい:2 いいえ:2 ・定期的なミーティングを行い、全職員で業務改善に努めている		・今後も定期的に話し合い、業務改善に努めています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	はい:1 いいえ:3 ・第三者外部評価は受審していない		・外部評価について社内全体で話し合い、導入について検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	はい:1 いいえ:3 ・定期的な研修が減っていると感じる		・今後は職員の意識向上のため、研修開催の機会を増やす検討をしていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	はい:4 ・定期的に面談等を行い、保護者の意向や児童の意見を取り入れて計画を作成している		・今後も各児童と保護者に寄り添い、より良い支援計画の作成に努めています。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	はい:4 ・個別活動と集団活動をバランスよく取り入れるようにしている	はい:16 ・楽しく通所する中で色々な体験や学びをさせていただくことができていて、ありがたく思っています。 ・通所しているお友達を覚えて、家でも話してくれたり、いつも通所を楽しみにしています。	・今後も児童の状況に応じて、個別、集団活動を組み合わせながら計画を作成していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	はい:4 ・支援計画において必要な項目を設定し、連絡帳へ記載をしている		・よりきめ細やかな項目の設定や、支援内容の記載に努めています。
適切な支援の提供（継続）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・専門家の意見も取り入れながら、個々の計画に即した支援の実施をしている	はい:17 どちらともいえない:1 ・いつものびのびと過ごさせていただき、またあたたかく見守り寄り添って支援してくださって大変有難く思っております。	・子どもの状況に応じた項目の設定や、より細やかな支援に努めます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	はい:4 ・活動プログラムについては、職員全員で話し合い立案している		・引き続き複数の職員で話し合いながら、より効果的なプログラムを作成していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	はい:4 ・平日と休日では活動内容を変え、児童の興味を引き出し、支援に繋がるように尽力しています	はい:15 どちらともいえない:3 ・好きなことを取り入れていただいたり、毎月の工作など日々楽しく色々なことに取り組めていると思います。 ・おでかけや公園遊びなど、様々な活動を通して、他者への興味や関わりが少しずつ見られるようになってきており嬉しく思っています。 ・外国人の先生との英語など、様々なプログラムがあり、子供も喜んでいます。	・休日や長期休暇では平日にできないプログラムを取り入れ、児童が積極的に活動に取り組めるように工夫を凝らしていきたいと思います。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	はい:4 ・季節や曜日によってプログラムを変えている ・職員間で意見を出し合い、固定化しないよう工夫している ・要望も汲み取り、多種多様なプログラム内容を日々考察しています		・引き続き、児童の様子を見ながら固定化しないよう工夫していきます。 ・要望に沿いながら、活性された内容を職員で話し合い、日々改善に努めます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	はい:4 ・支援開始前の朝礼を実施し、役割分担や支援内容の確認を行っている		・今後も確認や、共有を徹底して行ないます。 ・送迎等で不在の職員がいる場合も後で共有する習慣をつけ、伝達漏れのないよう努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	はい:4 ・支援終了後に参加可能な職員で振り返りを行っている		・当日中に情報の共有を図り、翌日の支援に備えていきます。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	はい:4 ・問題点や気付いた点をミーティングで話し合うとともに記録に残し、検証や改善に活用している		・引き続き、情報の共有・記録を徹底し、支援の改善に努めます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	はい:4 ・定期的にモニタリングを行い、課題や達成、取り組みなどを見直している		・引き続き、定期的なモニタリングと支援計画の見直しを行っていきます。
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	はい:4 ・管理者が出席している		・今後も継続して参加し、会議で得た情報は全職員で共有していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	はい:4 ・該当児童なし		・現在は該当児童がいませんが、受け入れがあった場合、関係機関と連携した支援体制を整えていきます。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	はい:4 ・該当児童なし		・現在は該当児童がいませんが、受け入れがあった場合、関係機関と連携した支援体制を整えていきます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	はい:4 ・必要に応じて情報を共有している		・今後も必要な情報の収集を行い、支援に生かしていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	はい:4 ・現在、対象児童なし		・必要に応じて対応していきたいと思います。
保護者への	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	はい:4 ・随時、職員に研修案内を提示している		・職員に研修情報等を提供し、意欲的に参加できる体制の確保を目指します。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	いいえ:4 ・現在障がいのない児童と活動する機会は提供できていない	はい:3 わからない:15	・様子を見ながら機会を提供できるよう努めています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	はい:1 いいえ:3 ・現状は難しい		・今後検討していきます。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	はい:4 ・契約の際に、丁寧な説明を心掛けている ・支援計画を基に保護者と協議し、定期的なモニタリングや必要に応じて随時面談し説明を行っている。	はい:18 ・説明はしていただいている	・運営規定、支援内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行えるよう努めます。
保護者への	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	はい:4 ・パンフレットを用いて利用の説明を行っており、障害児支援利用計画についても併せて説明し、利用までの流れをお伝えしている	はい:18 ・説明はしていただいている	・今後もわかりやすい説明を心掛けていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	はい:4 ・家族支援として相談にはその都度対応している	はい:3 どちらともいえない:1 いいえ:3 わからない:10 未回答:1	・保護者の要望に沿い、支援を検討していきたい
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	はい:4 ・送迎の際や連絡帳などで、児童の様子をお伝えしている ・細かな状況変化もインターネットを活用し共有している	はい:18 ・送迎時や連絡帳、スマホメッセージのやりとりなどで状況や課題などを伝達しあっており、日ごろから共通理解ができるとしてとても助かっています。 ・子どもの様子や興味、小さな成長を写真等と共に伝えさせていただけてありがとうございます。また、送迎の際や帳面、メールなどで色々と伝えられるので助かっていますし、とても安心しています。 ・いつも連絡帳や送迎時に情報共有いただいている	・連絡帳や、必要に応じて電話連絡なども活用しながらしっかりと連携を取れるよう努めています。 ・保護者との相互理解が深まり、安心いただける情報共有を徹底していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
説明責・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	はい:4 ・連絡帳、電話、面談時等でいつでも対応できるようにしている ・保護者に寄り添った対応を心掛けています	はい:16 どちらともいえない:1 わからない:1 ・日常的に情報共有や助言をいただき、細やかに見てくださり、温かい支援をしていただいていると感じています。 ・面談時のみならず、相談や情報共有をさせていただけています。 ・良かったことや様々な成長、困りごとに寄り添って下さいます。	・今後も継続し、保護者に寄り添った丁寧な支援に努めます。 ・相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、引き続き適切な対応をしていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	いいえ:4 ・積極的には行っていない	はい:2 どちらともいえない:1 いいえ:5 わからない:10 ・保護者会等は参加したことないが、事業所のみなさんも保護者の方々も忙しいと思うので必要ないのではないか。	・今後要望が多くあがるようであれば検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	はい:4 ・対応は迅速に実施している	はい:16 わからない:2 ・そういうことがないのでわかりません	・今後苦情が寄せられた際は、迅速かつ丁寧に対応できるよう体制を整えていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	はい:4 ・保護者とは連絡ノート等を使って情報伝達を行っている ・わかり易く、丁寧な対応を心がけています	はい:17 どちらともいえない:1 ・子どもに対して視覚支援を用いていただきたり、連絡帳や送迎時などでもしっかりと伝えています。	・引き続き丁寧な対応で、障害のある児童に対しては視覚的にわかりやすく表現できる方法を検討していきたい。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	はい:3 いいえ:1 ・個人情報の関係で会報等での公表は控えている	はい:12 わからない:6	・保護者の意向も踏まえ、活動内容や行事予定を伝える方法を検討していきたい
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	はい:4 ・個人情報は持ち出し厳禁にしている ・入所時に丁寧な説明をしている。	はい:16 わからない:2 ・ご注意いただいていると思います	・引き続き、個人情報について慎重に取り扱い、守秘義務を徹底していきます
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	はい:4 ・職員には周知できているが、保護者への周知が十分でない	はい:16 わからない:2 ・マニュアルがあることを知りません	・今後も要望に応じたマニュアル作りを継続していきます。 ・職員、保護者ともにマニュアルの周知徹底に努めます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	はい:4 ・年に数回避難訓練を行っているが、保護者への周知には至っていない	はい:12 わからない:6 ・訓練をされているのかどうかわからない	・今後は、保護者への訓練等実施状況の共有手段を検討していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	はい:4 ・虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施している		・今後も積極的に研修に参加できる体制を整えていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	はい:4 ・対象児童無し		・今後必要な児童の受け入れがあったときのためにマニュアルを整備するなど、対応方針を明確にしていきたいと思います。
非常時等の対応	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	はい:4 ・該当の児童については、契約時に保護者からの聞き取りで把握している		・必要に応じて、かかりつけ医師の指示書を確認し、適切な対応に努めます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内の共有の徹底	はい:4 ・ヒヤリハット事例をミーティングで共有し、再発防止策を話し合っている		・今後もミーティングなどでの共有を徹底し、再発を防ぐための具体的な対策を考え、マニュアル整備に努めます。